

# Liberty

九州共立大学／九州女子大学／九州女子短期大学 学園広報誌【リバティ】

Vol.02  
2009  
Autumn

## Challenge

挑戦

【特集】 Dreamers in JIYUGAOKA

Challenge I

野瀬 瞳 NOSE Hitomi

Challenge II

今村 優 IMAMURA Yu

Challenge III

金丸 美樹 KANAMARU Miki

■Progressive Professors

教育活動最前線

九州共立大学 経済学部経済・経営学科 八島 雄士

九州女子大学 家政学部栄養学科 石橋 源次

■Active Student's Report

課外で輝く 在学生インタビュー

## The Brilliant Days

ふと、思い出のアルバムを開いて



【昭和40年代の講義風景】

いまから40年ほど前、  
講義の舞台だった教室の多くは、  
こうしたものだった。  
ホール形式の大教室もふえた  
現代から見れば、  
極めて地味な空間。  
しかし、教員と学生たちとのあいだに  
交わされた絆は、  
固く、熱いものだった。  
学びたいという想いは、変わらない。  
それに応えたいという願いも、  
変わるはずがない。  
あの頃も、いまも、そしてこれからも。

## Liberty

学園広報誌【リバティ】  
九州共立大学／九州女子大学／九州女子短期大学

Vol.02  
2009 Autumn

事務局：福原学園 法人事務局 総務部 総務課  
TEL：093-693-3083  
URL：http://www.fukuhara-gakuen.jp/  
発行：学園広報委員会  
発刊日：平成21年11月25日



■From OB & OG To You  
贈る言葉、送る想い

■特集 Dreamers in JIYUGAOKA

# 挑戦

Challenge I  
九州共立大学 経済学部経済・経営学科1年

野瀬 瞳さん  
NOSE Hitomi ..... 02

Challenge II  
九州共立大学 スポーツ学部スポーツ学科3年

今村 優さん  
IMAMURA Yu ..... 04

Challenge III  
九州女子大学 人間科学部人間発達学科4年

金丸 美樹さん  
KANAMARU Miki ..... 06

■Facilities Of LIBERTY HILL  
学びの神は設備に宿る ..... 08

- 九州共立大学 学生支援課
- 九州女子大学・九州女子短期大学 学生支援課

■Progressive Professors  
教育活動最前線

#3  
バランス・スコアカードによる  
パークマネジメント研究  
九州共立大学 経済学部経済・経営学科

八島 雄士 准教授 ..... 12

#4  
黒糖焼酎の開発と  
蒸留残液(もろみ)の商品化  
九州女子大学 家政学部栄養学科

石橋 源次 教授 ..... 14

■Active Student's Report  
課外で輝く

#3 九州共立大学  
「教職サークル」  
九州共立大学 教職サークル部長  
九州共立大学 スポーツ学部スポーツ学科3年

堀内 昭宏くん ..... 16

#4九州女子大学  
「学友会総務委員会」  
前学友会総務委員会委員長  
九州女子大学 人間科学部人間発達学科4年

東園 紗耶香さん ..... 18

■Liberty Topics  
リバティ・ピックアップ ..... 20



## 贈る言葉、送る想い

同じキャンパスで学んだからこそ、分かることがある。  
伝えたい想いがある。  
この丘に吹く風を呼吸し、ここから巣立って、  
いま、さまざまな世界で活躍している先輩たち。  
彼らが、その熱い想いを、言葉にこめて贈ってくれました。

時代のニーズを適確に感じとる力と  
挑戦する力が大切。

私は、昭和46年度に工学部土木工学科を卒業しました。学生時代は、ラグビーで始まり、ラグビーで終わったことが想い出されます。卒業後、佐賀大学理工学部土木工学科(現都市工学科)で3年間助手として勤め、学生と付き合い、人との出会いを大切にしてきました。昭和50年7月に、父が創業した現在の日本建設技術(株)に入社し、建設業と建設関連業の実務の指導・統括を手がけました。その後、常務となり、時間的に多少余裕ができたので、42歳で佐賀大学の博士課程に社会人学生として入学。6年をかけて、「グラウンドアンカー引張り型定着部のシース効果に関する研究」と題して、室内(モデル)試験や現場試験を重ね、かなり厳しい審査を受けて博士論文にまとめました。さらに、「21世紀は環境の時代」と言われるなか、年間150万トンものリユースできないガラス廃材が排出されていることに着目。平成7年から、博士論文作成と並行して「ガラス廃材の再資源化」にも取り組み、環境の分野でいち早く「建設業から新分野に進出」を進めました。開発した多目的環境材料は、建設分野での環境緑化・水環境工法が、国内はもとより海外でも使用されています。技術力が身につけて初めて、自分の実力が発揮でき、技術や知識が伴って初めて、失敗することを恐れない度胸も備わる。夢や希望を持つことは必要ですが、「挑戦する勇氣」に変えることも、その人にとって大きな飛躍となる可能性が大いにあると思います。知識を身につけ、技術力を高め、経験を重ねることによって、「時代のニーズを適確に感じとる力と挑戦する力が大切」であることが分かってきます。



昭和46年度卒 九州共立大学  
工学部土木工学科  
原 裕 博士(工学)  
日本建設技術株式会社  
代表取締役社長  
企画開発戦略本部 本部長

まだまだその時が来ることを楽しみながら、これからも日々技術の研鑽をすることによって、皆さんとともに私の人生を歩んでいきたいと思えます。

### 努力は結果を残す。

私は、九州女子短期大学を昭和54年度に卒業しました。難関の教員採用試験にストリートで合格することができたのは、当時の熱血教授、金苗先生の「特講」のお陰だと心から感謝しています。  
在学中の2年間は、びっしりと授業が詰まっていた、楽しい大学生活……というよりは、勉強ばかりの毎日だったように思えます。しかし、その努力があったからこそ現在の自分がいるのだと思います。短大を卒業して教員になれるとは思っていませんでしたが、その夢が実現したばかりか、現在は念願の教頭職に就いて3年目になります。  
「努力は結果を残す」。この言葉を、現在、福原学園で学んでいる皆さん方に贈ります。夢は



昭和54年度卒 九州女子短期大学  
初等教育科  
石井 幸子  
福岡県飯塚市立菟田小学校  
教頭

努力次第で現実になります。  
まずは、自分の具体的な夢・目標を持つこと。次にその夢・目標を達成するために、自分がやるべき具体策を練るのです。  
「努力は結果を残す」、そして「夢は必ず叶う」。大きな夢に向かって、「一歩一歩自分の力で具体的に努力していきましょうね！」

# Liberty

学園広報誌【リバティ】  
九州共立大学／九州女子大学／九州女子短期大学

Vol. 02 2009 Autumn

CONTENTS【目次】



# Challenge-I

## 開花した才能が、「ロンドンではためく日の丸」を想像させる。

絵になるアスリートである。選手層の厚いジャパンの女子平泳ぎ陣。その熾烈な戦いのなかで急速に存在感を増してきた新星。野瀬瞳さんは、オリンピックをめざして進化をつづけている。

その才能は  
やはり本物だった

はじめてプールに入ったのは、2歳のときだった。

恐怖などなかった。まるでお風呂気分。歌いながら水と戯れていたという。

4人姉妹の3番目。姉妹全員でスイミングスクールに通いはじめた。いまま泳ぎつづけているのは三女だけである。

本格的に競泳に打ちこむ前は、器械体操もやっていた。その頃に培った身体の柔らかさが、「競泳選手・野瀬瞳」の武器になっている。彼女を中学時代から見てきた花村吉裕コーチ（大野城スイミングクラブ）は、言う。

「初めて泳ぎを見たとき、不思議でありませんでした。なぜ、これに進む

のか？……そう思えるほど非合理的な泳ぎだった（笑）。で、教えてみると、あつという間に良くなる。天才かと思いましたが。でも、修学旅行から帰ってきたら元に戻った。この子はいったい何なのかと思いましたが（笑）」  
当時を振り返るコーチの顔に苦笑が混じる。

しかし、才能はやはり本物だった。高校からジワジワと頭角を現し、3年のときに出場したジュニアパンパシフィック選手権で100メートルを制覇。大会新のタイムだった。

今年の日本選手権は、50メートルで日本新をたたき出して優勝。100メートルでも2位に入り、ローマで開かれた世界水泳の出場を決めた。晴れてジャパンの一員になった野瀬さんは、その容姿も相まってマスコミのターゲットになる。

「こうなるころまで私を支えてくださったまわりの人々には、感謝の気持ちでいっぱいです。でも、マスコミに騒がれたりするのは、もつと結果を出してからじゃないと申し訳ない気がして……」  
ホームグラウンドともいえる大野城スイミングクラブでのトレーニング。加えて、ジャパンの合宿で海外に遠征することも多い。そんな「水泳漬け」の毎日において、貴重な気分転換になっているのが大学で過ごす時間である。

「将来は、やはり指導者になりたいですね。そのために役立つことを大学で学びたい。できれば、資格とかにも挑戦したいと思っています」  
現役引退。まだずつと先のはずだが、彼女は、それからも目をそらしてはいない。



花村コーチとのトレーニングが実を結び、世界で戦えるスイマーになれるか。期待は、ますます高まっている。

### 精密な研究が支える 平泳ぎの世界

競泳には4つの種目がある。野瀬さんが挑む平泳ぎは、なかでも特別なものといっている。

まず、ルールという壁がある。平泳ぎは、4種目で最もルールが厳しいのである。足の裏だけで水を蹴らなければならぬ。「ひと掻き・ひと蹴り」のストローク中に、必ず1回は水から頭を出さなくてはならない。さらに折り返し後のドルフィンキックは……と、ガチガチのルールがスイマーを縛っている。

物理的な壁も大きい。平泳ぎは、4種目のなかで最も速度が遅い。身体を前に

進めるための効率が極めて悪いからである。

この非効率の原因は大きくふたつある。ひとつは、手足が常に水中にあるため、ほぼ全身で水の抵抗を受けてしまうこと。もうひとつは、「完全停止」と呼ばれる宿命的なタイムロスの存在である。

スイマーが水を蹴る。素早く足を引くもどす。その一瞬、腿が水の抵抗を受けて推進力を殺してしまう。この宿痾ともいべきロスが「完全停止」で、選手に他の種目にはない難題を突きつけている。

こうした課題を克服するために、選手とコーチはあらゆる角度から泳ぎを分析し、試行錯誤を繰り返す。そして、0.01秒を刻みとるために、懸命な努力を積みあげていくのである。

### “自分の泳ぎ”を 極めれば 世界は見えてくる

「ただ泳ぐだけなら、1日に1万メートルでも1万5千メートルでも泳げます。でも、問題は練習量じゃない。自分ならではの“泳ぎのスタイル”なんです。それを



**Profile**  
1988年生まれ。福岡県出身。2歳から水泳をはじめ。九州女子高等学校3年のときに、ジュニアパンパシフィック選手権ならびにインターハイ(全国高等学校総合体育大会)に出場して、100メートル平泳ぎで優勝。2009年の全日本選手権で好成績をおさめ、世界水泳ローマ大会に日本代表として出場した。

今年4月の日本選手権で50メートルを制したときのタイム。日本新記録だった。

100メートルの自己ベスト。これをオリンピックイヤーまでにどれだけ縮められるか。

九州共立大学 経済学部経済・経営学科1年  
福岡県九州女子高等学校出身

NOSE  
Hitomi

# 野瀬瞳

# 1.07.0

### 鹿児島生まれの 乙女は 鉄人レースに 青春を賭けた

サドルに乗った瞬間、それまでの印象は一変した。身長158センチ。けつして大柄の部類には入らないその身体が、一瞬で、ひとまわりも大きく見えたのである。

サンングラスに覆われた瞳が前方をとらえる。ハンドルを握る指が「掌から拳」に変わった。腰がサドルから浮かび上がり、発達しきった大腿部に力が蓄えられるのが分かった。

——ギリリッ。

金属音とともに、脚先からペダルにパワーが送られる。ギヤで増幅されたその力が、タイヤから地面へと解放されたときには、彼女の身体は風のなかに消えていた。

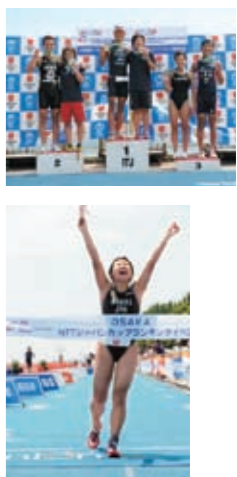
「振り返ってみると、高校時代から毎日がトライアスロンみたいな生活だったんです。部活の水泳とランニングに加えて、チャリ通学でしたから笑)。しかも、家を出るのはいつもギリギリの時間。だから毎日、片道6キロ近い距離をバイク(自転車)で猛ダッシュしていたわけです(笑)」

今村優さんが水泳をはじめたのは、3歳の頃。以来、18年間、泳ぎつづけている。走りも得意だった。中学時代は、冬

こうして、「トライアスリート今村優」は誕生した。  
トライアスロンでは、スイム(水泳)、バイク(自転車)、ラン(ランニング)の3種目をひとりの競技者が連続して行う。過酷なレースだが、スイムとランに「貯金」を持つ彼女には、最初から手応えがあったという。

「負けず嫌いで、大ざっぱ」。そう自己分析する性格も、トライアスロンに向いていたかもしれない。「負けず嫌い」は、この競技に欠かせない不屈の闘志を引き出した。「大ざっぱ」は、小さな失敗にこだわらない粘りを支えている。

3つの種目に死力を尽くす。最後の瞬間まで勝負の行方が分からない。そんなトライアスロンは、カタダだけでなくハートの戦いでもある。小さなボディに熱い魂を燃やす彼女は、文字どおり水を得た魚となって快進撃をつづけた。



限定で駅伝部にも籍をおいていたという。「二流のスポーツ選手になりたい」。夢が芽生えていた。しかし、水泳でも陸上でも、単体の種目でトップになることは難しい。現実の壁の前に目標を見失いかけた。が、ここでスポーツの女神は彼女にヒントを与えてくれる。

——単体の種目ではなく、それらを統合した競技なら、勝つチャンスがあるかもしれない。

### 失意から、飛躍へ はじめての 国際大会で 痛感したもの

瞬く間に全国大会の常連となった。しかし、国際大会で海外に行くようになると、新たなハードルが見えてきた。

「言葉の問題です。国際大会では、レース前に事務局から伝えられるコース説明や確認事項も、すべて英語なんです。でも、私は意味も分からないし、選手たちの会話にも入っていけない。不安と混乱でレースにも集中できない。このままじゃ世界では戦えないと思いました」

またしても立ちふさがった壁。その高さを痛感した今村さんは、全力で英語に取り組み。大学側もサポートしてくれた。それが実を結んで、外国の選手とも気軽に話せるようになった。戸惑いもない。結果、レースに集中でき、パフォーマンスも向上した。

「英語をクリアしたことで、私自身、大きく成長したと思います。人とふれあう余裕もできました。外国の選手から『日本のことを教えてよ』って言われたり、お互いの持ち物を交換したり。こうした交流もスポーツの素晴らしさですね」

昨年6月の世界学生選手権エルデツキ大会(トルコ)では、スイムを終えた時点で全体の5位。快挙が期待された。が、バイクで痛恨のパンク。リタイアに泣いた。「ショックでした。はじめてのリタイアでしたから……」

これもまたトライアスロン。こうした苦い経験が、彼女をさらに強くするだろう。

【特集】 Dreamers in JIYUGAOKA.

# Challenge-II

## “世界の背中”が 見えるまでに 超えねばならなかった いくつかの壁。

本格的に競技をはじめたわずか3年で、国際大会を転戦するトライアスリートとなった。「精進を怠らなければ、世界はそれほど遠くないと思う」あくまで謙虚な口調ながら、そう語った「小さな鉄人」。

今村優さんの瞳は、すでに世界のゴールを見据えている。



昨年の世界学生選手権トルコ大会でははじめてのリタイアに泣いた。

ユニバーシアード、ロンドン五輪、教員になること。夢への距離は確実に縮まっている。

海外大会で“言葉の壁”を痛感。以来、英語に取り組み、パフォーマンスも飛躍的に向上した。

### ユニバーシアード ロンドン五輪 “世界の背中”は 確かに見えている

日の丸を背負う身となったいま、挑戦のターゲットは、確実に“世界”に据えられている。もとより簡単なことではない。しかし、スイムとランをさらに磨き、「伸びしろ」のバイクで自信をつけたとき、世界はグッと近づいてくるだろう。

「ユニバーシアードでの優勝。そして、ロンドン五輪に出場すること」

「目標は？」の問いに、彼女はそう答えた。  
風のなかで見つめるオリンピックのゴール。いま彼女が走っているのは、夢に続くコースのどのあたりだろうか。



**Profile**  
1988年生まれ。鹿児島県出身。3歳で水泳をはじめ。その後、陸上競技(長距離)でも実力を発揮。スイム(水泳)とラン(ランニング)の実力を活かして、大学からトライアスロンに挑戦。めきめきと頭角を現し、日本学生選手権を制した。現在北九州の「LET'Sスポーツクラブ」を拠点にトレーニングを行い、プロトライアスロンチーム「VIKING」にも所属し、世界をめざしてハードな練習をこなしている。

九州共立大学 スポーツ学部スポーツ学科3年  
鹿児島県立川内高等学校出身

IMAMURA  
Yu

# 今村優

# Challenge-III

## 華やかに過ぎた“秋”。

### その記憶とともに、いま、春の予感にときめいてくる。

ともに笑い合った仲間がいる。それは、時にぶつかりあい、意見を戦わせ、その末に、分かり合い、励まし合い、成功を喜び合った仲間でもあった。弾ける笑顔の裏側で想い出す葛藤の日々。大学祭運営という重い体験を糧に、金丸美樹さんは、新たな夢のステージに向かう。

目立たないけれど、なくてはならない仕事

“ピースの花が、何十本も咲いている。ひとつの目標を掲げ、その実現に向かってともに汗を流した仲間たち。記念写真のなかに咲き誇ったピースと弾けるような笑顔は、苦楽をともにしてきた乙女たちの達成感を物語っていた。

「いろいろな活動に積極的に参加して、できるだけいろんな体験をすること。それが、大学生活4年間の目標でした」と語るのは、金丸美樹さん。「きつと欲張りなんだと思います」の言葉どおり、

006年から2008年)まで、都合3回その実行委員を務めた。

企画、広報、模擬店、コンサート、警備。実行委員の活動は、この5つのセクションに分かれている。金丸さんは、2006年と2007年の大学祭で警備を任された。

警備の役割は、大学祭の期間中、会場を訪れる人たちや大学祭関係者が安全で気持ちよく過ごせるようケアすることである。

まず、校門に椅子を置き、ひとりで2時間以上も座りこんで監視しなければならぬ。クルマが入ってくれば、誘導しなければならぬ。さらに、女子大の大学祭ともなれば、“アヤシイ者”も紛れこんでくるため、会場の隅々を巡回したりもする。

「地味で目立たないけれど、警備がしっかりしていなかったら大学祭は成功しない。そう自信をもって言えます」

焦りと不安そして、歓喜へ

2007年と2008年の大学祭では副委員長も務め、準備の進行と委員会メンバーの取りまとめに苦心した。当時は振り返ったその表情に、わずかな翳りが滲む。

「とくに、2007年のときがたいへんでしたね。メンバーはざっと30名。それぞれ実行委員になっただきっかけも違うし、モチベーションもさまざま。意見のくい違いや考え方の違いで気持ちがちがうこともありました」



その結果が、全開の笑顔と満開のピースである。

アルバイト、バトミントン、教職への挑戦と、実にさまざまなことに取り組んできた。なかでも、彼女が最も大きな力を注いできたのが大学祭の運営である。

華秋祭。その名のとおり、ここ自由ヶ丘の秋を華やかに彩る一大イベントである。金丸さんは、1年生から3年生(2

実行委員は、基本的に運営に関わるすべての業務を手がけなければならぬ。アタマを使うことも多いが、力仕事も少なくない。個人の裁量に任されている部分もあれば、チーム一丸となって遂行しなければならぬ場面もある。その一つひとつに目を配り、進捗を確かめ、全体をリードするのが副委員長である。

が、準備は思うように進まなかった。「女三人よれば姦しい」と言われるが、その10倍の乙女たちがひとつの目標のもとに集いながら、プロジェクトはなかなか活気づいてこない。

「そうなる焦りも出てくるし、私自身もイッパイイッパイになってきて、まわりに気づかぬことができなくなっていました」

困惑しきった金丸さんを救ったのは、先輩のアドバイスだった。

「何があっても、メンバーを責めないで、サポートにまわることで、言葉聞いて、肩の力が抜けた。「リードしなければ」の想いが空回りしていたのかも。思いついてみると変化があった。笑顔が見られるようになり、仲間一体感が生まれはじめる。不安は少しずつ期待に変わっていった。」

「とにかく、子どもたちに負けないくらい元気な先生になりたい。頑張ります」

新しい挑戦は、もうはじまっている。試みに、「もし、もう一度、大学祭運営を頼まれたら？」と訊いてみた。

「もちろん、やりたいです」。答えは、0.5秒で返ってきた。

「実行委員も、来てくれた人も、参加したみんなが思いっきり笑顔になれる。そんな華秋祭にしたいですね」

力強い言葉だった。華やかに過ぎた3度の“秋”。その鮮やかな記憶を胸に、新たな春に向けて、いま乙女は旅立とうとしている。



#### Profile

1987年生まれ。福岡県出身。1年生から3年生まで「華秋祭」の実行委員を務め、警備担当に加えて副委員長としても奮闘。さらに、北九州市の成人式や「折尾まつり」の実行委員も務めた。ほかにも、アルバイト、バトミントン、教職への挑戦と、充実した大学生生活を満喫。北九州市の小学校教諭の採用も決まり、念願の教師への道が現実のものになった。

「学習の舞台から教育の舞台へ」

実行委員会の活動をとおして、「これだけは欠かせない」と実感したヤサイがある。

「ホウ・レン・ソウ。報告・連絡・相談のことである。確かに、これが欠乏すると、チームはうまく働かない。組織というカラダに不可欠の栄養素をこのヤサイが握っていた。」

「自分でもすごく成長したと思います。とくに“人との関わり方”を学んだのが大きかった。これを今後の自分に活かすことができればと思います」

活かす舞台は、すでに見えている。夢だった小学校教諭への道が開かれたのである。



華秋祭の貴重な体験は、夢だった教師の道でも、きつと活かされるだろう。

準備は進まず、メンバー間に軋みも生まれ、焦るばかりの日々がつづいた。

# 焦燥な夢

困難を乗り越えて、本番は大成功。笑顔とピースが歓喜のほどを表している。

九州女子大学 人間科学部人間発達学科4年  
福岡県立小倉西高等学校出身

Kanamaru Miki

# 金丸美樹

# 学びの神は設備に宿る



学生がいつでも利用できるパソコンコーナー



田中邦博学生支援部長

専門のキャリアカウンセラーとの面談

## ■平成20年度 就職先一覧(抜粋)

### 【経済学部・経済学科】

◎一般企業  
 (株)ローソン/(株)コメリ/(株)タカミヤ/(株)フタタ/(株)トライアルカンパニー/九州旅客鉄道(株)佐川急便(株)/大分県信用組合/朝日火災海上保険(株)/鹿児島信用金庫/(株)筑邦銀行/(株)ジョイフル/リョーユーバングroup/(株)伊藤園/(株)プレナス/東芝(株)/レオパレス21/名鉄観光サービス(株)/(株)ルネサンス/(株)ホテルオークラ/(株)亀の井ホテル/日本製紙(株)

### 【経済学部・経営学科】

◎一般企業  
 日本郵政グループ/(株)ミスターマックス/(株)大創産業/鶴丸海運(株)/福岡運輸(株)/日本生命保険相互会社/明治安田生命保険会社/(株)宮崎銀行/(株)愛媛銀行/(株)筑邦銀行/(株)ジョイフル/(株)すかいらーく/ココロウエストジャパン(株)/新日本製鐵(株)/(株)住友金属/(株)日立製作所/東芝(株)/レオパレス21/(株)日本旅行/セントラルスポーツ(株)/(株)ルネサンス/(株)再春館製薬所

### 【工学部・メカエレクトロニクス学科】

◎一般企業  
 新日本製鐵(株)/(株)九電工/(株)中電工/三菱マテリアルテクノ(株)/菱和エンジニアリング(株)/(株)VSN/トヨタテクニカルディベロップ(株)/竹田設計工業(株)

### 【工学部・情報学科】

◎一般企業  
 (株)アルプス技研/(株)バイオニアソフト/(株)ワールドハイテック/大和冷機工業(株)/アイム電機工業(株)

### 【工学部・都市システム工学科】

◎一般企業  
 レオパレス21/JFEスチール(株)西日本製鐵所/広成建設(株)/高知緑化建設(株)/日鉄パイプライン(株)/総合警備保障(株)

### 【工学部・建築学科】

◎一般企業  
 清水建設(株)/(株)奥村組/三井造船鉄構工事(株)/アーネストワン/日本フィルター工業(株)/松尾建設(株)

### 【工学部・環境サイエンス学科】

◎一般企業  
 ファイザー(株)/メディコスヒラタ/(株)吉田園/(株)トオツウ

### 【工学部・生命物質化学科】

◎一般企業  
 リョーユーバングroup/デリカウイング(株)/めいらくグループ/(株)悠香/(株)オリエントコーポレーション

### ◎公務員その他

福岡県警察本部/岡山県警察本部/熊本県警察本部/武雄市役所/西条市役所/南国市役所/美郷町役場/山口市消防本部/倉敷市消防局/福岡市立博多工業高等学校/佐賀県立唐津工業高等学校/奈良育英中学校・高等学校/福岡県立行橋高等学校 など

## 九州共立大学 学生支援課

### 一人ひとりの学生の個性を見極め、ふさわしい未来への道をサポートする。

広く開放的なスペースのなか、真剣なまなざしでパソコンを操作している学生たち。ここは、九州共立大学の学生支援課。学生へのさまざまなサポートを手がけている場所です。

学生支援課の業務は、おもにふたつあります。ひとつは、下宿やアルバイト、奨学金情報などを提供する学生生活全般のサポート。もうひとつが、学生の就職支援です。支援課では14名のスタッフで、これらの業務にあたっています。平日は午前8時30分から夕方17時まで開放され、学生が自由に入出りできるようになっています。

就職支援に関しては、28台あるパソコンも、いつでも使用可能。多くの学

生がこれを使って求人検索を試みています。

学生支援課では、学生の進路をサポートするにあたって、学生と企業との「マッチング」を重視しています。学生にとっては、“自分に合った就職先”。採用する企業側にとっては、“求める資質をもった学生”。これらを結びつけること。それが、新卒者の離職率を抑えることにつながるという考えからです。

そのため、とくに力を入れているのが学生の個人面談。3名の専任スタッフが一人ひとりの学生の話聞いて、個性や希望を見極めるようにしています。

また、企業にも積極的に訪問して求人を掘り起こし、学生と企業双方のニ

ズを的確につかむことでマッチングにつなげています。

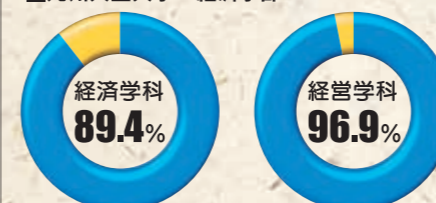
さらに、学生が個人で専門のキャリアアカウンタラーに相談するための面談室も設置し、進路選択に役立てています。目先のことだけでなく、5年後、10年後の自分を見つめて進路を決定してもらいたい。そんな願いのもと、スタッフも学生たちと真摯に向き合っています。

そのほかにも、1年をとおして開催する就職ガイダンスや120社が集結する学内合同企業セミナー、ゼミや授業に向いている説明会などを実施。不況による求人数減少のなかでも学生が望む未来を手に入れられるよう、きめ細かにサポートしています。

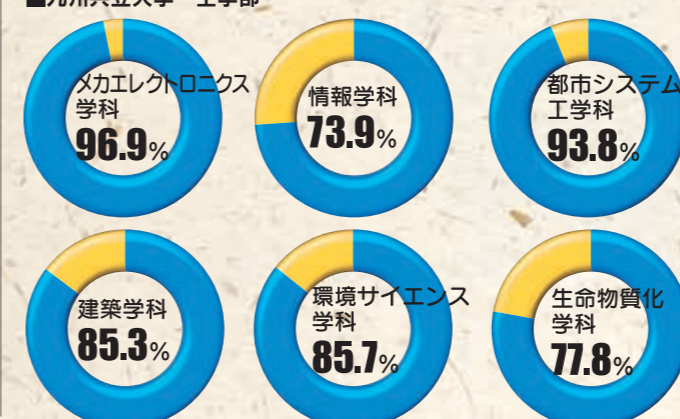
このようななか、2008年度は「就職率90%」を達成。多くの学生が、元気に社会へと巣立っていきました。

## 【平成20年度就職率】

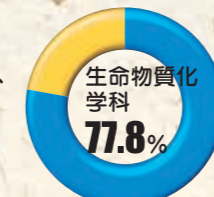
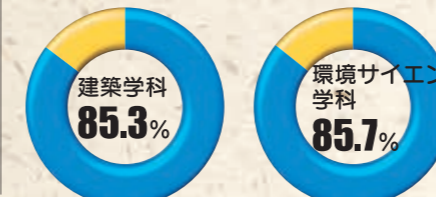
### ■九州共立大学 経済学部



### ■九州共立大学 工学部



### ■九州共立大学 全体



# 学びの神は設備に宿る



職員のデスク横で随時行われる  
“なんでも相談”



資料展示室

## 九州女子大学・九州女子短期大学 学生支援課

“強くてしなやかな女性”の育成をめざして、女子学生たちを熱く支援。

学生一人ひとりの「入学から卒業まで」を見つめ、指導し、さまざまな角度からサポートする。それが、九州女子大学および九州女子短期大学（以下、九女）の学生支援課です。

支援課のスタッフは10名。うち5名が、学生係としてアルバイトや寮の幹旋、奨学金などについての相談や悩みに応えています。就職係の5名は、学生の進路指導を担当。その夢の実現をサポートしています。

九女は、教員や栄養士といった専門的な資格の取得をめざす学生が多いのが特徴です。授業が5時限目、6時限目までであることも多く、学生たちが支援課を訪れる時間も遅くなりがち。これに対応するため、学生支援課は通常19時まで開放されています。しかしながら、19時以降にここを訪れる学生も多く、時間外にもかかわらず、1年間でのべ2,000人ほどが足を運んでいます。

就職係では、求人票、企業訪問票、参

考書、受験報告書といった進路関係の資料を豊富にそろえています。また、学内のパソコンはもちろん、自宅のパソコンからも求人情報を検索できるシステムを導入。この充実した環境によって、学生個々の就職活動をバックアップしています。

その進路サポートの取り組みには、次の3つの柱があります。

第一は、マナー教育。国際儀礼に通じた人材を育てるためマナー・プロトコール資格取得を支援しています。

第二は、卒業生に対するアンケートの実施です。狙いは、OGの“生の声”を集約し、九女生の強みと弱みを把握すること。調査結果は、今後の進路サポートに活かされてい

きます。

第三の柱は、就職の“なんでも相談”です。全員との個人面談を行うことで、学生一人ひとりをより深く理解。ここで悩んだことをアドバイスに活かすのです。

こうした手厚い支援体制を支えているのは、スタッフの熱い想いです。全員が九女の出身者というも見逃せないポイント。「先輩のいまと未来を精いっぱい応援したい」。その気持ちから、指導にも、サポートにも、自然に熱が入

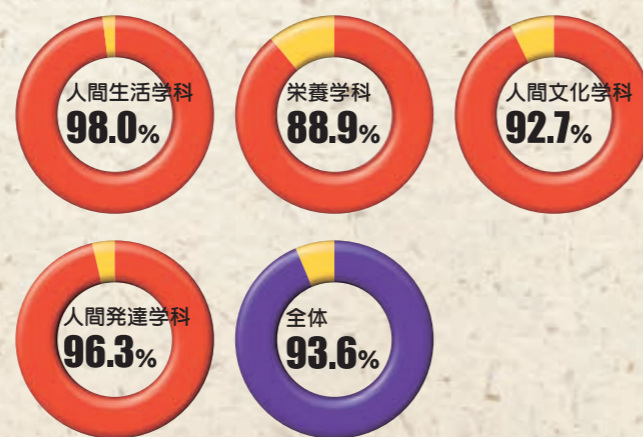
るのです。この取り組みが平成21年度「大学教育・学生支援推進事業」学生支援プログラムに採択されました。

平成20年度の就職率は、九州女子大学が93.6%。九州女子短期大学が95.0%。また、平成19年度には、雑誌の就職ランキングで、九州沖縄地区の文系で1位を獲得しました。

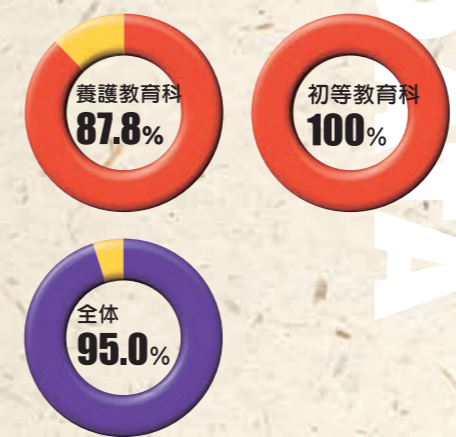
「社会に適應できる強くてしなやかな女性の育成」。この理念を実践するために、頼れる先輩たちが、今日も後輩の相談を待っています。

### 【平成20年度就職率】

#### ■九州女子大学



#### ■九州女子短期大学



### ■平成20年度 就職先一覧（抜粋）

#### 九州女子大学

##### 【人間生活学科】

###### ◎一般企業

セキスイハイム九州(株)／フジミツ(株)／(株)ボンバドウル／(株)光通信／(株)イズミ／ローラッシュレイジャパン(株)／(株)クレヨン／(株)アサヒ緑健(株)JA食肉かごしま／山口トヨタ自動車(株)／(株)悠香／(株)西日本シティ銀行／(株)山口銀行／(株)レオパレス21／ワタミ(株)／(株)亀の井ホテル日本郵政(株) など

###### ◎医療・福祉

社団博文会／聖導会川崎学舎／豊徳会／末吉小児科内科医院 など

###### ◎教員・教育

東筑紫学園／福原学園／美萩野女子高等学校／大阪信愛女学院 など

##### 【栄養学科】

###### ◎一般企業

日本食研(株)／アサヒ飲料(株)／(株)再春館製菓所(株)ハウディ／(株)魚国総本社／エムサービス西日本(株)／日清医療食品(株)／富士産業(株)／九州医療食(株)／西日本フードサービス(株)／(株)サンキュードラッグ／(株)ドラッグイレブン／ナチュラル(株)／(株)サンドラッグ／(株)岩崎宏健堂 など

###### ◎医療・福祉

九州厚生年金病院／湯布院厚生年金病院／北九州病院／健和会／新古賀病院／昭和病院／宮崎善仁会病院／福岡和仁会病院／大島郡医師会病院／桃崎病院 筑前会／社団桜会／福祉松快園／おとぎのいえ保育園 など

###### ◎公務員

福岡県職員／福岡県警察／滋賀県職員 など

##### 【人間文化学科】

###### ◎一般企業

(株)なかやしき／藤本製菓(株)／(株)サカイ引越センター／(株)玉屋／(株)ジャパンイメージーション九州三菱自動車販売(株)／北九州ダイハツ販売(株)山口トヨタ自動車(株)／(株)スズキ自販福岡／日本メナード化粧品(株)／(株)三城／(株)山陰合同銀行(株)長崎銀行／(株)宮崎銀行／(株)山口銀行／九州幸銀信用組合／日本生命保険(相)／(株)福岡シティクラブ／(株)亀の井ホテル／日本郵政(株)／(株)サンレー／コマツ建機(株)／秀英予備校 など

###### ◎教員・教育

神奈川県教員／長崎日本大学中学／高校／日南学園九女大学附属九州高等学校／宮崎第一中学／江楠学園／福岡県・大分県・宮崎県・山口県・鹿児島県の小学校・中学・高校 など

##### 【人間発達学科】

###### ◎一般企業

福助工業(株)／アストラゼネカ(株)／(株)バイオニアソフト／(株)三鈴／(株)オンワード樞山／ネットヨタ北九州(株)／日本生命保険(相)／(株)ジョイフル／ヒューマングループ など

###### ◎教員・教育

福岡市小学校教員／大阪府小学校教員／堺市小学校教員／京都府小学校教員／神奈川県小学校教員／東京都小学校教員／千葉県小学校教員／埼玉県小学校教員 以上正規採用17名

北九州市・福岡県・福岡市・山口県・佐賀県・長崎県・熊本県・沖縄県・島根県・奈良県などの小学校教員

###### ◎幼稚園

美和台幼稚園／志徳幼稚園／ゆりの樹幼稚園／ひまわり明野幼稚園／シンガポール日本人幼稚園／吉野ヶ里幼稚園／水巻・水巻中央幼稚園 など

#### 九州女子短期大学

##### 【看護教育科】

###### ◎一般企業

(株)西日本シティ銀行／(株)山口銀行／(株)大光銀行／逓信信用金庫／(株)シロヤ／ファミリースタジオ／ステップ など

###### ◎医療・福祉

(株)麻生飯塚病院／社団スマイル会／町立芦屋中央病院／前川整形外科医院／あけだ胃腸科内科医院／愛デンタルクリニック／かじわら歯科／社団博文会／中央歯科／岸クリニック／ヤマチ力歯科小児歯科／博多歯科／(株)さわやか倶楽部／ひまわり学園 など

###### ◎教員・教育・公務員

沖縄県の養護教員／福岡県・福岡市・大分県・鹿児島県の養護教員／仰星学園高等学校の養護教員／筑紫女学園附属幼稚園の養護教員／玄海青年の家／串間市職員

##### 【初等教育科】

###### ◎一般企業

コナミスポーツクラブ／東九州コミュニティ放送会社／(株)ボナー など

###### ◎福祉・保育

西日本至福会／わたつみの里／ふじヶ丘保育園／双葉保育園／若竹保育園／永大丸保育園／清滝保育園／深坂保育園／いちご保育園／中間保育園／済美保育園／聖ヨセ保育園／水巻みなみ保育園／つくし保育園 など

###### ◎幼稚園

あかね幼稚園／赤間くるみ幼稚園／浅川幼稚園／宇美幼稚園／済世第一幼稚園／乳山幼稚園／戸畑天使園／星が丘幼稚園／野菊幼稚園／フレンズ幼稚園／水巻中央幼稚園／西門幼稚園／もんじゅ幼稚園／さつき幼稚園／立正幼稚園／花ヶ島幼稚園／自由ヶ丘幼稚園／折尾幼稚園／津山幼稚園／育英第二幼稚園 など

###### ◎教員

京都府小学校教員／北九州市・福岡県の小学校



# #03

## バランス・スコアカードによるパーク・マネジメント研究

### 管理会計 その広くて深い研究世界

いま、社会が最も必要としている学問とはなにか。八島雄士准教授は、そのひとつに「会計学」を挙げる。

会計とは、要するに「やりくり」である。あれも足りない。これも不足している。余裕がなく、先ゆきどうなるかも分からない……。そんな厳しい状況のなかで、ムダを省き、あれこれと工夫しながら、なんとか都合をつけていく。求められるのは、現状の分析力と、リスクへの柔軟な対応力。そこには、「数字」を基本とした合理主義が貫かれている。

「高度成長期の頃には、会計が注目される場面も少なかったでしょうね(笑)。でもいまは、大不況の時代。ムダは許されない。将来もまったく予測できない。こんなときにこそ、会計学が求められるわけです」

会計は、財務会計と管理会計に大別される。両者の違いをザックリというなら、「外向きか、内向きか」ということになるか。

### 日本ではじめて 都市公園の運営にBSCを活用

BSCは、1990年代初頭にアメリカで開発された。その後、世界に発信され、日本でもさまざまな分野の戦略マネジメントに取り入れられている。八島准教授もこれに注目した。斬新だったのは、パーク・マネジメントに取り入れたことである。

パーク・マネジメント(Park Management)「PM」、すなわち「都市公園の管理運営」である。これまで、公園をはじめとする公共施設の管理運営は、国や地方自治体の外郭団体に限って委託されてきた。しかし、2003年に地方自治法が改正され、「指定管理者制度」が導入される。これによって、民間の事業者はもちろんNPO法人やボランティア団体なども都市公園の管理運営に参入できるようになった。効率化が進み、民間のノウハウが投入される機会もひろがったのである。

一方で、ニーズも変わってきている。これまでの公園は、ちょっとした休息や遊び、避難の場であればよかった。「しかし今後は、積極的でクリエイティブな使われ方に変わってくるだろう」と八島准教授は言う。

老若男女、さまざまな人々が集う。癒し、学び、アミューズメントなどの機能が幅広く持ちこまれる。そして、市民自らが創造力を発揮することで、より多様で重層的なレクリエーションの場へと変わっていく。それは、単なる「パーク(公園)」から「スクール(学校)」への転換といってもいい。

八島准教授は、こうした動きを敏感に捉え、海外の事例とも比較しながら、都

財務会計は、「血液」にたとえられる。それは、組織体が外部の利害関係者(企業の場合なら、株主や銀行など)に対して、業績や財務状況を公開するためのものである。そこに示されるデータは、組織体の「血液検査」の結果といっている。これに対して、「神経」にたとえられるのが管理会計である。たとえば、企業の経営者が事業戦略を立案し、実行する。そのとき、どこに資金を投入し、どう人を使うか。そうした意思決定を組織に浸透させるには、確かなビジョンと客観的な根拠が必要になる。曖昧な戦略のもとには動かない。不確実な時代なら、なおさらであろう。

この意思決定に根拠を与え、神経よろしく組織に伝えていくのが管理会計である。ここでは、財務に加えて経営学の見識が求められる。奥の深さは、いうまでもない。この管理会計を専門としているのが、八島准教授なのである。

## ”与えられるパーク“から、 ”創造するスクール“へ。 変貌する都市公園の 未来を会計学で解き明かす。

日頃、私たちがなげなく過ごしている街の公園。それが、いま、変わろうとしている。

都市の公園は、これからどうなっていくのか。どうあるべきなのか。この問いに、管理会計という学問分野から答えようという人がいる。我が国初の試みといわれるその研究について聞いた。

市公園のあるべきビジョンを解析。福岡市や佐賀県といった自治体にも提言している。

その指標は、もちろん”4つの視点“である。財政状態は健全か(財務の視点)。市民のニーズに答えられているか(顧客の視点)。効率的でムダのない組織運営ができていくか(内部システムの視点)。スタッフは確かなモチベーションと向上心をもって働いているか(学習と成長の視点)。BSCによって示される現状や課題が、都市公園の”いまと未来“を明らかにしていく。

「これまでの公園は、行政から”与えられたもの“でした。これを、利用者が創るものにするために、市民参加型の社会的ネットワークが構築できないか。それが私のテーマです」

このBSC、実は八島ゼミでも使われている。学生が将来の目標を明確にし、それを達成するために何をどう進めていけばいいかを

### 組織の”いまと未来“を 見つける”4つの視点“

その研究の中心に据えられているものが、バランス・スコアカード(Balanced Scorecard)「BSC」と呼ばれるフレームワークである。

BSCは、企業や組織の戦略を”4つの視点“で捉える。すなわち「財務の視点」「顧客の視点」「内部プロセスの視点」「学習と成長の視点」である。

この”4つの視点“を基に、現状を分析し、課題を抽出。さらに、それらの因果関係を整理し、戦略全体を俯瞰しながら将来に向けたシナリオに組みあがる。このシナリオとなるフレームワークが、戦略マップである。八島准教授は、このBSCや戦略マップを使いながら、事業や組織づくりを成功に導くための取り組みを研究しているのである。



(※) バランス・スコアカードの「4つの視点」 「財務の視点」とは、捉えるべき対象を、売上や利益、キャッシュフローなどの実態から見ていく。これに対して、利用者の満足度やリピーターの数といった要素から捉えるのが「顧客の視点」である。また、組織内の業務効率や品質管理のあり方などから確かめるのが「内部プロセスの視点」。さらに、スタッフのスキルや意識の向上、新技術の開発状況などを基に対象をつかもうというのが「学習と成長の視点」といえるだろう。

## Looking Good Goods!

### 【見たいモノ、聞きたいコト】

愛用のノートパソコンと電子手帳。ノートは、「無印良品」と決まっている。これに手帳を添えてリュックに入れ、マクドナルドに入るのが「八島流」(LANが設置されているためらしい)。論文も、すべてこれで書くとか。どれも、やや小さめだが、「このサイズじゃないといけないんです」と、キッパリ語ってくださった。

# 八島雄士

YASHIMA Yuji

九州共立大学  
経済学部経済・経営学科 准教授

1967年生まれ。宮城県出身。専門分野は管理会計論、パーク・マネジメント、経営教育学。簿記会計研究会の顧問を務めている。趣味は、研究、マラソン、子育て。



# #04

## 黒糖焼酎の開発と蒸留残液(もろみ)の商品化

人気の黒糖焼酎  
その研究は  
東南アジアからはじまった

笑いが、絶えなかった。  
研究について尋ねれば、微笑とともに次から次に言葉があふれてくる。教え子のことには話が及べば、笑みは満面にひろがる。そこには、研究と教育を心から楽しむ人がいた。

石橋源次教授の専門は、脂質栄養学。その成果を活かして、これまでにさまざまな食品の研究に携わってきた。なかでも特筆すべきもののひとつが黒糖焼酎の開発である。

遡ること、およそ20年。石橋教授は、東南アジアで生産される未精製糖(パームシュガー)について研究していた。

「その頃、教え子のなかに奄美大島出身の子がいたんです。そこで、彼女に研究の対象として薦めたのが、パームシュガーと同じ糖、つまり奄美特産の黒糖でした」  
やがて教え子は卒業し、地元奄美で酒

# 試験管を振りながら、 研究の醍醐味と 人生の喜びに酔う。

黒糖焼酎やその蒸留残液(もろみ)の研究から、いくつものヒット商品が生まれている。その生みの親こそ、九州女子大学の石橋源次教授。  
研究とは？ 教育とは？ そして焼酎とは？  
胸いっぱい質問を抱えて、研究室を訪ねた。

研究を進めているところですよ」

このように新たな研究に取り組みるとき、教授は必ずさまざまな専門家のもとに足を運ぶ。話を聞き、語りあう。一献傾けることも多い。そうした交流も研究活動の醍醐味のひとつだという。

「黒糖焼酎の研究でも、たくさんの人との楽しい出会いがあった。そういう意味では、焼酎は私にとって人生そのものかもしれないですね(笑)」

### 研究を楽しむ、教育を楽しむ そして、人との 縁を味わい尽くす

「研究室では、勉強のことはあまり話さないね」と言う。「結局のところ僕は、自分のために研究しているんですよ」とも言う。「試験管を振っているときがいちばん楽しい。学生たちとのやりとりなんかよりも、ずっとね……」などと語りたりもする。

テレなのか。ユーモアなのか。いずれにしても、これらの言葉を額面どおりに受け取るのはアブナイようである。

実際、教授の試験管から生まれた(もろみ酢)は、エコノミーはもちろんエコロジーにも貢献している。「自分のため」であるとともに、「自然環境のため」の研究なのである。

さらに石橋ゼミでは、よく食事が開かれる。生活指導の一環として、毎年、海外研修も実施されている。「学生より自分のため」など、とんでもない。師弟

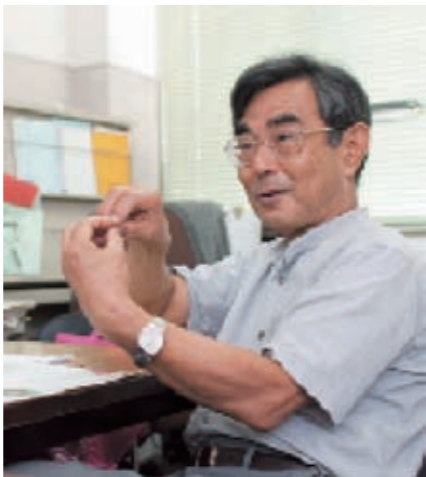


## Looking Good Goods!

### 【見たいモノ、聞きたいコト】

石橋教授は、黒糖焼酎やもろみ酢だけでなく、数多くの商品開発にかかわっている。ここにならぶ化粧品や健康食品はその成果の一部である。現在も博多湾に異常繁殖したアオサやチーズの製造過程で発生する乳清などを研究中。試験管を振る日々は当分終わらない。

# Progressive Professors



### 出会いと交流 これこそ研究の醍醐味

「れんと」の完成後、教授は新たな課題に取り組み。「黒糖焼酎残液(もろみ)の機能特性」の研究である。

「もろみは、焼酎の製造過程で生まれるいわば“残り物”で、いままでは棄てられていました。でも、調べてみると、二価鉄やクエン酸、ポリフェノール、メラノイジンといった有効成分が含まれていることが分かってきた。これには、貧血の予防や改善、コレステロールの低下といった働きがあるんですよ」

いささか難しい話になってきた。が、その笑顔で話されると、少しは分かったような気分になるから不思議である。「ひとまず、へもろみ酢」の商品化に成功しました。いまは、そのカプセル化の

のコミュニケーションは極めて濃密なのである。

「学生には、研究をとおして、物の見方や考え方、人との接し方を伝えているつもりです。いろいろと悩みもあるだろうけど、若い彼女たちにとってはそんな経験も悪くない。悩んでいる子にはいつも、『世の中は自分を中心に動いていると思いなさい』と言ってやっています(笑)」  
なるほど、やはりユーモアのセンスも、なかなかのようである。そんな教授の大切な楽しみのひとつ、それは温泉めぐりである。

「長くやってきたおかげで、教え子たちも九州各地に散らばっているわけです。で、温泉の近くに住む子に連絡をとり、会って、酒を酌みかわす。これが、実に楽しい。勘定はもちろん、こつちもちですけどね」

また、笑顔がはじけた。  
研究と教育を楽しむ、人との縁の妙を味わい尽くす。その表裏のない無防備な笑みは、最も幸福な人生を体現している人のそれであろう。そして、そんな教授に育てられた学生たちもまた、学ぶということの幸福を心から実感しているに違いない。

九州女子大学 家政学部栄養学科 教授

福岡県出身。油脂の研究を手はじめに研究生生活をスタート。九州女子大学に赴任した当時は「建物中に油の匂いを充満させた」逸話をもつ。その後、数多くの食品成分の機能性について研究を展開。現在は「黒糖焼酎の蒸留残液(もろみ酢)の機能性」「乳酸菌生成物の可能性」などの完成をめざしている。趣味は、温泉めぐり。

# 石橋源次

ISHIBASHI Genji

◎九州共立大学「教職サークル」

# “教員の卵”たちは、 学びあい、 コミュニケーションを磨き、 人と向き合いながら 殻を破っていく。

九州共立大学の「教職サークル」は、  
教職課程を履修する学生が  
夢をめざしてともに学びあうサークルである。  
部長として約50名の“教員の卵”を  
まとめる堀内昭宏さんに  
自身のこと、サークルのことを聞いた。



HORIUCHI Akihiro

九州共立大学 教職サークル部長  
九州共立大学スポーツ学部  
スポーツ学科3年

### Profile

山口県立広瀬高等学校出身。中学・高校の体育教員をめざして九州共立大学に入学。1年次から教職サークルに所属し、2年次には副部長を、3年次の現在は部長を務める。同サークルのリーダー的存在として活躍中。

### 堀内 昭宏くん

大切にしているのが、サークル内で月に1回開催しているイベント。スポーツ大会などを催すことで、メンバー間の交流を深めている。

「教職サークルの魅力は、まず、人とのつながりが深まることだと思っています。同級生の“横のつながり”はもちろんですが、先輩後輩の“縦のつながり”もある。そのなかで、いろんな発見があるし、自分を成長させていくこともできます」

知識を深める。コミュニケーションスキルを磨く。さまざまなカタチで交流を楽しみ、こうした活動をおして、自分を見つめ、人というものを知り、人を好きになる。それが、九州共立大学の教職サークルなのである。堀内くんは、言う。

想いの先生はいますか？ そう訊かれたとき、誰にも脳裏に浮かんでくる顔があるだろう。

堀内昭宏くんのそれは、小学校6年のときに出会った“タナカ先生”だった。

「心から生徒のことを考えてくれる先生でした。漢字テストでも、スポーツ大会でも、どんなことにも手を抜かずに一所懸命取り組むこと。努力の大切さを教えていただきました」

“理想の教師”を体現していたタナカ先生との出会い。それは、彼の生き方を決定的に方向づけるものとなった。

「タナカ先生のような教師になりたい。目標を定めた堀内くんは、中学・高校の体育教員をめざして九州共立大学スポーツ学部に進む。ここで知ったのが、教員志望の学生たちが集う「教職サークル」の存在。迷わず入部した彼は、いま、そ

の部長として活動をリードしている。

ある土曜日のこと、堀内くんの姿が遠賀郡芦屋町役場の一室にあった。

小中学生が自学自習する芦屋町「土曜学び合いルーム」。ここで堀内くんは、教職サークルのメンバーや地元教員、ほかの大学の学生らとともに、子どもたちに勉強を教えたり、スポーツを指導したりしている。

午前9時から1時までの2時間。堀内くんたちの顔は、学生ではなく“先生”のそれになる。

「普段、子どもたちと話す機会なんてなかなかありません。まして、実際に勉強を教えたりするチャンスなんて、まず



ない。でも、こうしたボランティアに参加することで、子どもたちとのコミュニケーションを学ぶことができる。この経験は、大きいと思います」

教員には、指導力以前に欠かせないものがある。子どもたちとのコミュニケーション能力である。これを磨くことができるこのボランティア活動は、堀内くんたちにとって貴重な実践の機会。こうした活動をおして、教員という夢を少しずつリアルなものにしているのである。

「子どもは、一人ひとりみんな違います。勉強が得意な子、そうでない子、よく話してくれる子、無口な子。それぞれにとってどんな接し方がよいかを考えて対応すること。それが、いまの僕の課題です」

もちろん、こうした実地での活動のほかに、教員採用試験を突破するための学習も欠かせない。そこで教職サークルでは、試験対策として勉強会を開催。メンバー同士、互いに励ましあいながら努力を重ねている。

さらに、堀内くんが部長としてとくに

「教師になるということは、やはり簡単ではありませんね……」

教員という仕事の本質について考え、その責任の重さを感じているがゆえの言葉が、静かに響いた。

そんな堀内くんがいまめざしているのは、どんな教師なのだろうか。

「たとえば、僕が言ったことを生徒がその場で理解してくれれば限りません。分かってくれないことのほうが多いかもしれない。でも、それでもいいと思うんです。1週間、1カ月たつて、あるいは学校を卒業してから、「ああ、あのとき先生は、こういうことが言いたかったんだなあ……」と、分かってもらえればいい。そんな風に、広い意味で生徒たちの力になれる教師になりたいと思います」

タナカ先生とは、いまでも年賀状のやりとりがあるという。

「おかげさまで、教師になりました」。そんな文面に、恩師が驚く日も、そう遠くないかもしれない。

### ■教職サークル

九州共立大学「教職サークル」では、教職課程履修生のための活動に、履修生自らが積極的に取り組んでいる。いわば、「教職生の教職生による教職生のためのサークル」である。設立して6年という比較的新しいサークルながら、活動は活発。芦屋町「土曜学び合いルーム」の学習・スポーツ指導ボランティアや水巻中学校での短期学習指導ボランティアといった定期的なボランティア活動のほか、特別支援学校の行事サポートなど、不定期のボランティア活動にも積極的に参加している。このほかに、教職担当の教員を交えての勉強会や月に1度のサークル内イベントなども開催。現在、およそ50名の共立大生が所属している。

# Active Student's Report #4

## 課外で輝く

ペットボトルのキャップが、社会貢献に繋がることをご存知だろうか。キャップを回収し、リサイクルして得られる対価。それを、途上国の子どもたちの支援に取り組んでいる団体に寄付するのである。たとえば、九州のある大手スーパーチェーンでは、この方式によって、ポリオ（小児マヒ）ワクチンを途上国に届ける運動を進めている。

こうした社会の動きに注目し、九州女子大学と九州女子短期大学（以下、九女）では、2008年6月にキャップ回収をスタートした。その牽引役が学友会の総務委員会。当時、その委員長を務めていたのが東園紗耶香さんである。

委員長になったのは、2年次の冬。すでに学友会組織の一員だった彼女に、ある教員が「委員長をやってみないか？」と声をかけた。これが、きっかけだった。

「声をかけていただいたのは嬉しかったのですが、同時に不安もあって、悩みました」

躊躇には、理由があった。ある目標にチャレンジしていたのである。それは、幼稚園、小学校、中学校の3つの教員免許を取ることも。もちろん、簡単なことではない。委員長を引き受ければ、想像もできない多忙な日々が待っている。学業との両立が難しくなることは目に見えていた。

しかし、心には別の想いも芽生えていた。

——総務委員会は、このままでいいのだろうか……。

総務委員会、体育委員会、文化委員会、大学祭実行委員会、代議委員会。九女の学友会は、これら5つの委員会（五大委

員会）で運営されている。総務委員会は、その中心的な組織とわかっていい。にもかかわらず、活動の実態が見えにくい地味な存在だった。

「総務委員会は、とても大切な役割を担っています。なのに、その事実が知られていない。だからもっとアピールして、（総務委員会＝地味）というイメージを変えていきたいと思っただけです」

彼女は決心する。とにかく、1年間、頑張ってみよう。

東園さんがまず取り組んだのは、委員会内部をしっかりと組織化すること。そして、総務委員会の存在をアピールできる画期的な活動の企画実行だった。キャップ回収も、そうした活動のひとつとして着手したものだ。

「キャップ回収には、まず、学生のボランティア意識を高めるという効果があります。それに、キャップを集めてスーパーに持っていけば、その実績がスーパーのホームページに載りますから、地域に對しても九女のことを発信できると思っただけです」

委員長のリーダーシップのもと、メンバーたちは奮闘した。企画書をつくって、学内の承認をとった。学外の人たちとも交渉した。学内では、ポスターを掲示し

て回収ボックスを設置。

結果、キャップ回収は「自分たちで手軽にできるボランティア活動」として学内に根づいていく。この活動は東園さんが委員長を退いたあとも継続され、スタートからの1年間でスーパーに持ちこんだのは777kg。実に、3万個を超えるキャップが集まった計算である。

回収活動は、成功した。では、東園さんが進めようとした委員会の「改革」はどうなったのか。現総務委員長の山中紫織さんがこんなことを語ってくれた。

「毎年、新入生オリエンテーションのときに勧誘活動をするのですが、今年はたくさん1年生が委員会に入ってくれました。先輩たちが築いてくれた「活気あるイメージ」をアピールできたのかもしれません。何かキラキラしたものが、新入生の目に映ったんだと思います」

こうして、東園さんが掲げた目標のひとつはクリアされた。もうひとつの「3つの資格取得」という目標は、いまが総仕上げの真っ最中。だが、その結果を待つ前に、ひと足早く「学びの女神」が微笑んだ。小学校教員に内定したのである。



## YAMANAKA Shiori

現学友会総務委員会委員長  
九州女子大学  
人間科学部人間文化学科3年  
山中 紫織さん

◎九州女子大学・九州女子短期大学 学友会総務委員会  
**委員会のイメージを変えたい。**  
**先輩の想いは、後輩に受け継がれ、いまも息づいている。**

九州女子大学、九州女子短期大学では、ペットボトルキャップのリサイクルを社会貢献に生かす活動を進めている。

その活動を学内で企画実行しているのが学友会総務委員会。リーダーとなって活動をスタートさせたのが、前総務委員会委員長の東園紗耶香さんである。

「総務委員会の活動をとおして実感しているのは、人と人との結びつきと、その広がりですね。新しい企画が実現できたのも、仲間や先生、学外の人たちの支えがあったからです。おかげで自信がつけましたし、その自信のおかげで資格試験や就職活動にも堂々と臨むことができました」

東園さんたちが築いた「新しいイメージ」をさらに発展させ、今年度の総務委員会も「挨拶運動」や「文華祭」といった新企画を次々に実現させている。「改革」のバトンは、確実に受け継がれているようである。

### ■学友会総務委員会

学友会総務委員会は、学生自治の中心的な役割を担っている組織。総務委員会委員長は学生会長も兼務している。おもな活動は、予算の配分や年に2回の学生総会、新入生オリエンテーションなどの企画と実施。2008年度は、ペットボトルキャップ回収運動やスポーツフェスタを実施し、2009年度には挨拶運動や文華祭といった新たな活動にも取り組んでいる。2009年度のメンバーは34名。



前学友会総務委員会委員長  
九州女子大学 人間科学部人間発達学科4年  
東園 紗耶香さん

### Profile

宮崎県立宮崎大宮高等学校出身。教員をめざして九州女子大学に入学。2年次の1月から3年次の12月まで学友会総務委員会の委員長を務める。念願かなって、京都府の小学校教員に内定。

## HIGASHIZONO Sayaka

初企画・初開催、九女発の夏まつり

【第1回】

# 2009 文華祭、開催

開催日／平成21年7月6日～11日

会場／耕雲館

From

九州女子大学

九州女子短期大学



九女の文化に華を添える  
新イベントで、  
自由ヶ丘が熱く賑わいました。

自由ヶ丘に夏本番の風が吹きわたる7月初旬、九州女子大学と九州女子短期大学で、『文華祭』及び『浴衣の日』が開催されました。“九女らしさ”をテーマとするこの行事を企画運営したのは、学友会総務委員会・文化委員会。まさに、学生による学生のための画期的なイベントでした。

九女では、多くのサークルが活動しています。しかし、



さまざまな大会への出場機会をもつ体育系サークルに比べて、文化系サークルや県人会は、活動の成果を発表する場が限られています。そこで、文化系サークルと県人会にスポットを当てて、日頃の活動を思いっきり披露してもらおうと開催されたのが、この『文華祭』です。

6日間の開催期間中、耕雲館の教室は各サークル・県人会の展示会場として賑わいました。展示物は、書道や絵画、写真といったクリエイティブ作品、ボランティアをはじめとした活動



風景の紹介、各県の情報などなど。最終日には、ステージを利用して演劇や手話、吹奏楽も披露されました。こうして第1回の『文華祭』は、文化系サークルと県人会の学生たちがそれぞれの活動をお互いに理解しあうよい機会ともなったのです。

11日の『文華祭』最終日には、第1回『浴衣の日』も開催され、『浴衣講習会』や『新作浴衣抽選会』と充実した内容で、学生たちも大盛り上がり。「思い出に残る一日になった」「楽しかった」と、好評のうちに幕を閉じました。

文化系サークル・県人会の活性化につながった『文華祭』と、女性らしさや女性の品格をアピールした『浴衣の日』。このふたつのイベントは、来年、再来年と継続していくことになっています。文字どおり、九女の文化に華を添える名物行事として定着していくことでしょう。



福原学園60周年記念誌  
「二十一世紀の飛翔」が  
完成しました。

From福原学園

福原学園の歩みと  
いま、そして未来が詰まった  
259ページです。

福原学園は、平成19年に創立60周年を迎えました。かねてより進められていた記念誌の編纂が、今年の春、ついに完了。259ページにおよぶ福原学園創立60周年記念誌「二十一世紀の飛翔」が刊行されました。



創設者・福原軍造の生涯をはじめ、学園の創設から総合学園への道のり。福原学園と各設置校の歩みと現在、未来がますます網羅されています。

また、学園の同窓生や先生方の輝かしい活躍の足跡、年代別の航空写真など、興味深い記事や写真が多数、掲載されています。

さらに、株式会社九電工の橋田純一社長を囲んで理事長、学長らが学園の未来について熱く語り合った座談会など60周年を記念して、実施されたさまざまな記念事業も紹介されています。

この60周年記念誌『二十一世紀の飛翔』は、大学図書館でご覧いただけます。落ち着いた深緑色の表紙が印象的な一冊。“学園の飛翔”をぜひ一度、その目でお確かめください。



## Liberty Top!cs

【トピックス】  
学校法人福原学園の  
“いま”を知らせる  
トピックスの数々。